

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和元年度】

(③駐車・駐輪施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川大手門駐車場		担当課名	産業労働政策課	記入者職氏名	永田雄哉
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川大手門駐車場条例					
	(2)施設設置目的	中心市街地における道路交通の円滑化を図るとともに、市民の利便性に資するため。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	掛川大手門駐車場(自走式連続傾床)延床面積 5,467㎡					
	(4)施設建設年度	平成6年度					
	(5)耐震性能の有無	あり					
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	高圧受変電設備改修工事(令和3年頃 約260万円)					
		駐車券発券機・自動料金精算機 リース料(令和3年から令和7年 年間約270万円)					
	(7)指定管理者名	かけがわ街づくり株式会社					
	(8)指定期間	平成 30年 4月 1日 から 令和 3年 3月 31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成 年度～令和 年度) (限度額 千円)			
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度					
	(11)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)				

区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	90,000			※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	91,556	83,580	78,380		
	内訳 (施設・設備ごと)	定期利用者台数	18,382	16,634	14,769		
		乗用車台数	71,992	65,978	62,678		
		バス台数	1,182	968	933		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(定員 207台)	駐車場	A平日昼間	27.2%	25.0%	23.1%	平日 10時における駐車台数の平均値 / 定員台数
			B平日夜間	27.9%	28.5%	27.8%	平日 19時における駐車台数の平均値 / 定員台数
			C土日祝昼間	32.9%	34.3%	33.3%	休日 10時における駐車台数の平均値 / 定員台数
			D土日祝夜間	30.3%	33.6%	32.7%	休日 19時における駐車台数の平均値 / 定員台数
	(定員 人)		A平日昼間				
			B平日夜間				
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							
(定員 人)		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		37	33	58			
	(3)運営日数							
	(4)運営人員	①正規職員					※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員								

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
	①人件費					
	②印刷費					
	③通信費	150,974	172,833	177,420		

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料	815,660	801,670	2,685,630		
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	2,459,500	1,782,650	1,697,700		バス駐車料金補助
	計	3,426,134	2,757,153	4,560,750	0	
	対前年度増減率		△ 19.5	65.4		
区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	16,011,216	16,201,296	17,922,216	0	
	駐車場管理委託料	15,796,080	15,986,160	17,710,320		
	電気工作物保守点検委託料	147,744	147,744	149,112		
	清掃委託料	67,392	67,392	62,784		
	②修繕費	3,299,400	995,760	1,847,400		
	③光熱水費	1,589,675	1,563,998	1,566,262		
	④燃料費					
	⑤清掃費					
⑥保守点検費	1,607,904	1,633,824	1,648,952		エレベーター、消防用設備	
⑦その他(施設消耗品)	368,206	1,027,276	1,008,524			
計	22,876,401	21,422,154	23,993,354	0		
対前年度増減率		△ 6.4	12.0			
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		26,302,535	24,179,307	28,554,104	0	
(4)合計のうち運営コストの割合		13.0	11.4	16.0		
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		32,586,880	29,060,470	28,242,810		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		951.1	1,054.0	619.3		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設利用料金収入	32,586,880	29,060,470	28,242,810	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)	6,284,345	4,881,163	△ 311,294	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度			2	【達成できていない点・主な課題】 ・老朽化が進んでいる 【いつまでに、どのように対応するか】 ・譲渡・貸付等について中期的に検討する。
B サービス内容の満足度			3	
C 従業員対応の満足度	苦情件数 2件 未滿	1件	3	
D 施設安全対策の満足度	事故件数 1件 未滿	1件	3	
E 美観・清潔感の満足度			2	
F 施設の利用者数			2	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・利用者が減少傾向である。老朽化に伴い、修繕費が以前より増えている。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・新型コロナウイルス感染症収束後、利用者数を増やすため、中心市街地でのイベント等による集客を行う。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設の老朽化が進んでいるため、万全とは言い難い。建て替えを検討する必要があるが、工事費は莫大である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今後について、譲渡・貸付等中期的な計画に基づいて実施していきたい。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

26

／33

V その他自由意見

--